

【財団法人川崎市生涯学習財団設立趣意書】

近年、急速な高齢化社会の進行、情報化、高度技術化、国際化の進展、余暇の増大など社会構造全体が大きな転換の時代を迎え、これら改革の潮流は、市民の社会生活の様々な面に大きな影響を及ぼしております。市民は、これらの変化に適応すべく常にそれぞれの人生の各段階において自由で、かつ、自主的な学習活動を行い、新たな知識や技術を習得していく必要性に迫られております。

川崎市はこれらのニーズに応えるため、従前から市民の手によるふれあいと創造のまちづくり「2001かわさきプラン」における「生涯学習の推進」、また、川崎市教育懇談会の「いきいきとした川崎の教育をめざして」の提言等をもとに、社会教育、文化、スポーツの各分野において、市民一人ひとりが「いつでも」、「どこでも」、「だれでも」が参加し、学び、鍛えられるよう市民館、図書館、スポーツ施設などその条件整備に努めてまいりました。

しかしながら、本格的な高齢化社会の進行、産業の構造変化による市民の就業構造の質的变化、週休二日制の定着などをめぐる社会システムの確立に向けての高まりをみせており、とりわけ、市民、行政が一体となった全市的な生涯学習に向けてのシステム構築が緊急の課題となっております。

これらの課題解決に向けて、「2001かわさきプラン第3次中期計画」（1989年度から1993年度までの5か年間）の中で、本市の生涯学習の体系的整備を図るため生涯学習基本構想の策定を進め市民のライフステージに応じた生涯学習を一層推進するとともに、財団法人を設立し、市民の多様化する学習需要に応じた多面的な学習プログラムの開発と提供、生涯学習施設の効率的な管理運営等を行い、市民の主体的な学習活動を側面から支援することといたしております。

このため、生涯学習に関する講座、講演会の開催、情報の収集、整理及び提供、各種相談及び調査研究などを行うとともに、生涯学習施設の弾力的な管理運営を行い、もって市民の健康で生きがいのある創造性と個性を生かせる活力ある地域生涯学習型社会の形成と振興に寄与することを目的として、財団法人川崎市生涯学習振興事業団を設立するものであります。

(注記)

平成17年4月1日をもって「財団法人川崎市生涯学習振興事業団」と「財団法人川崎市博物館振興財団」が統合され、新財団として「財団法人川崎市生涯学習財団」を設立しました。